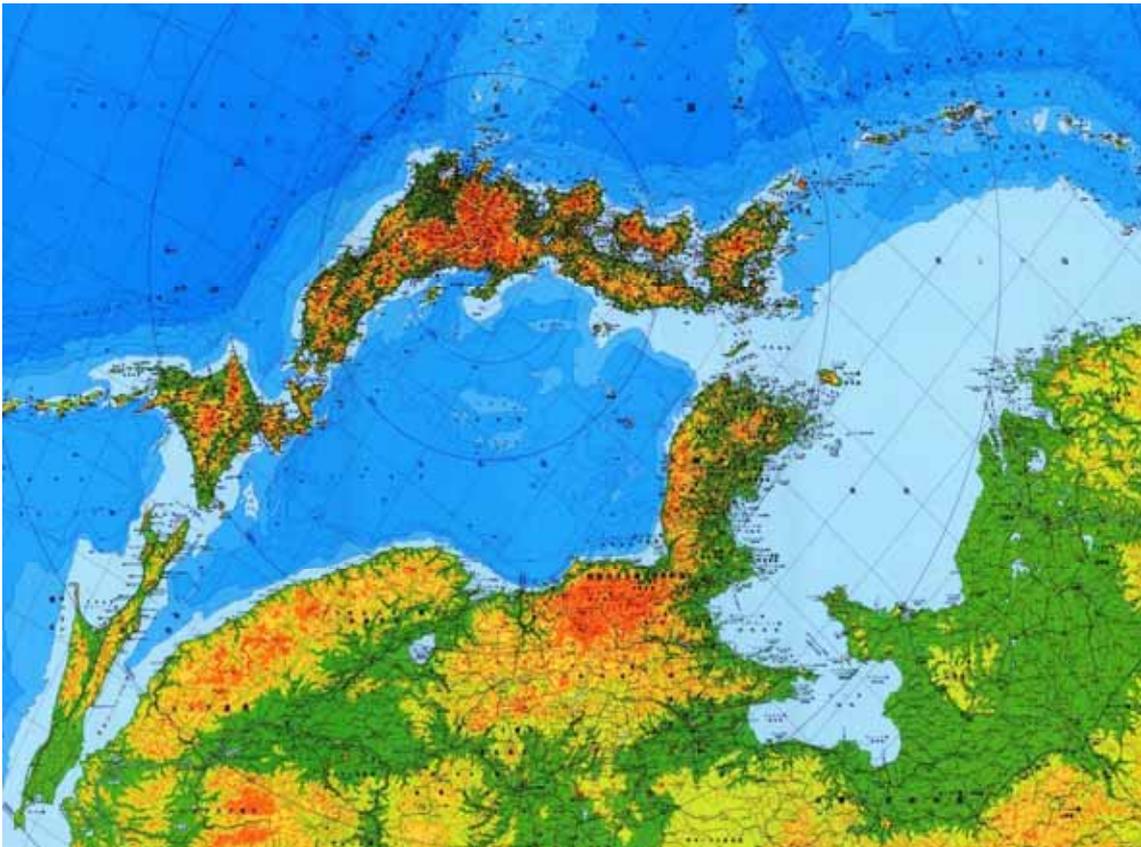


**東アジア若手研究者による環境研究シンポジウム：  
若手研究者のネットワーク形成をめざして**



**主催**

**金沢大学環日本海域環境研究センター**

**共催**

**金沢大学フロンティアサイエンス機構**

**金沢大学海外分室(中国分室、韓国分室)**

**協賛**

**金沢大学「里山プロジェクト」**

**いしかわ国際協力研究機構(IICRC)**

金沢大学環日本海域環境研究センター、FSO、海外分室、金沢大学「里山プロジェクト」、いしかわ国際協力研究機構(IICRC)

**東アジア若手研究者による環境研究シンポジウム：  
若手研究者のネットワーク形成をめざして**

**主催**

金沢大学環日本海域環境研究センター

**共催**

金沢大学フロンティアサイエンス機構  
金沢大学海外分室(中国分室、韓国分室)

**協賛**

金沢大学「里山プロジェクト」  
いしかわ国際協力研究機構(IICRC)

**日時及び場所：**

**2008年 1月15日(火)**

**「能登半島・里山里海自然学校」**

<http://www.satoyama-satoumi.com/>

**能登セッション**

**珠洲市三崎町小泊**

朝9時、金沢大学バスにて金沢駅から珠洲市へ出発します。

**2008年 1月16日(水)**

**金沢大学自然科学研究棟 G15**

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/>

**金沢セッション**

**金沢市角間**

[お問い合わせ]

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学環日本海域環境研究センター 洪 天祥

TEL : 076-234-4662

TAX : 076-234-4645

E-Mail : hcs103@staff.kanazawa-u.ac.jp

プログラムは一部変更される場合があります。

[金沢大学環日本海域環境研究センター](#)、[FSO](#)、[海外分室](#)、[金沢大学「里山プロジェクト」](#)、[いしかわ国際協力研究機構\(IICRC\)](#)

東アジア若手研究者による環境研究シンポジウム：  
若手研究者のネットワーク形成をめざして

金沢大学環日本海域環境研究センターの海外分室では、中国、韓国、ロシアにおいて環日本海域の環境のより深い理解とそれに基づく社会の発展を目指してさまざまな活動を続けております。

このたび、それらの国々から若い研究者を迎え、日本の若手研究者と環日本海域のさまざまな環境や環境の保全・創造を主題にした学術交流会を持つことになりました。金沢大学環日本海域環境研究センター及び金沢大学フロンティアサイエンス機構では、次代を担う若手研究者の学術交流会が成功裏に終わり大きな成果が残るよう、強力な支援体制を作って準備にあたってきました。

シンポジウムは、珠洲市と金沢市を中心に開催される予定であります。珠洲を始め能登の各地は古くから大陸側の諸地域とさまざまな交流があった地域であります。いま、環日本海域はさまざまな緊張が存在し、多くの解決すべき問題が横たわっております。そんななかで、若い世代の研究者が国際交流を深めるべく、歴史的にふかいゆかりを持つ地を選んで学術シンポジウムを開催するに至ったということにある種の感慨を感じさせます。

シンポジウムはきわめて明るい雰囲気になされるよう、また国際交流の実が上がるよう、関係者一堂、鋭意準備しております。ここに、シンポジウムのご案内をさせていただくとともに、多数の皆さまがご参加されますよう心からお待ちしております。

2007年11月27日

木村繁男  
シンポジウム実行委員会 委員長  
金沢大学 教授

**東アジア若手研究者による環境研究シンポジウム開催実行委員会**

木村繁男	金沢大学環日本海域環境研究センター	センター長（実行委員長）
長野 勇	金沢大学フロンティアサイエンス機構	機構長
村上清史	金沢大学	学長特別補佐
岩坂泰信	金沢大学フロンティアサイエンス機構	特任教授
鈴木克徳	金沢大学フロンティアサイエンス機構	特任教授
石田 啓	金沢大学大学院自然科学研究科	研究科長
早川和一	金沢大学大学院自然科学研究科	教授
柏谷健二	金沢大学環日本海域環境研究センター	教授
中村浩二	金沢大学環日本海域環境研究センター	教授
小村和久	金沢大学環日本海域環境研究センター	教授
山本政儀	金沢大学環日本海域環境研究センター	教授
清水宣明	金沢大学環日本海域環境研究センター	教授
山田外史	金沢大学環日本海域環境研究センター	教授
笹山雄一	金沢大学環日本海域環境研究センター	教授
長谷部徳子	金沢大学環日本海域環境研究センター	准教授
塚脇真二	金沢大学環日本海域環境研究センター	准教授
田中茂雄	金沢大学環日本海域環境研究センター	准教授
木下栄一郎	金沢大学環日本海域環境研究センター	准教授
福士圭介	金沢大学環日本海域環境研究センター	助教
井上睦夫	金沢大学環日本海域環境研究センター	助教
濱島靖典	金沢大学環日本海域環境研究センター	助教
柿川真紀子	金沢大学環日本海域環境研究センター	助教
鈴木信雄	金沢大学環日本海域環境研究センター	助教
弁納才一	金沢大学環経済学部	教授
川西琢也	金沢大学自然科学研究科	准教授
丁子哲治	富山工業高等専門学校	副校長
アルフォンスカンパー	いしかわ国際協力研究機構	所長
俵 幸嗣	石川県企画振興部地域振興課	高等教育統括担当課長
小林信夫	石川県国際交流協会	事業企画班長
丸口邦雄	金沢市企画調整課	課長
馬場典夫	国連環境計画北西太平洋地域海行動計画地域調整部	総括担当官



## 実行委員会幹事

洪 天祥 金沢大学環日本海域環境研究センター 研究員（金沢大学韓国分室 担当）

## プログラム

日時： 1月15日(火)

場所： 「能登半島・里山里海自然学校」  
能登セッション  
(珠洲市三崎町小泊)

### 1月15日

0900 - 1230 金沢駅出発、珠洲市へ金沢大学バスにて移動

1230 - 1320 昼飯 (能登半島・里山里海自然学校にて)  
食事代(飲み物込み)1,000円/1人

(総司会: 洪 天祥)

1400 歓迎の言葉 泉谷満寿裕 珠洲市長

1410 開会挨拶 木村繁男 金沢大学環日本海域環境研究センター長

### セッション1: 生態環境 。 里山と東アジアでの生態環境について

(司会: 小路晋作、Ju-Duk Yoon)

1420 - 1435 中村浩二(日本、金沢大学環日本海域環境研究センター、教授)  
Present conditions and problems of satoyama and satoumi in Japan: toward  
the establishment of research cooperation in the Pan-Japan Sea Area

1435 - 1450 Sung-Koo Kim(韓国、釜慶大学校、教授)  
Expression of WSSV antigens for the application of protein vaccine in  
shrimp

1450 - 1505 Sang-Deok Chung(韓国、釜慶大学校、博士課程)  
Relationship between Pacific cod(*Gadus macrocephalus*) catch and  
environmental factors in Southern East/Japn Sea

1505 - 1520 Ha-Yeun Song(韓国、釜慶大学校、修士課程)  
Analysis of differently expressed gene transcripts in hepatopancreas of  
white spot syndrome virus(WSSV)-resistant shrimp(*Fenneropenaeus  
chinensis*)

1520 - 1535 善家孝介(韓国、釜慶大学校、博士課程)  
Use of fish U6 promoter for expression of short hairpin RNA in fish cell lines

1535 - 1600 Coffee Break

**セッション2:生態環境。里山と日本海との関連性について**

(司会:善家孝介、Sang-Deok Chung)

1600 - 1615 宇都宮大輔(日本、金沢大学、研究員)  
Comparative study of pollination systems between satoyama forest and urban green space in Kanazawa, Japan

1615 - 1630 大脇 淳(日本、金沢大学、研究員)  
The biodiversity and its determinant factors of ground-beetle and butterfly assemblages in satoyama areas of Pan-Japan Sea Area

1630 - 1645 Yeon-Hee Ban(韓国、忠北大学校、研究員)  
Comparative proteome analysis of *Sphingobium chungbukense* after exposure to the polycyclic aromatic hydrocarbons.

1645 - 1700 Ju-Duk Yoon(韓国、釜山大学校、博士課程)  
The characterization of fish communities in urban streams of the Busan Metropolitan City and suggestions of stream restoration

1715 - 1730 Alexey Koltunov(ロシア、Russian Academy of Sciences、研究員)  
Carbon system of Amur River Estuary

1730 - 1750 コメント

環日本海域での里山・里海の若手研究者のネットワーク形成及び  
珠洲観測所のスーパーサイト構築に関してー

中村浩二(金沢大学)、Sung-Koo Kim (釜慶大学校)、

1800 - 1830 バスにて宿所(のとじ荘)へ移動

1900 - 2100 懇親会(進行係:洪 天祥)

場所:のとじ荘(珠洲市宝立町, <http://www.notojiso.com/>)

( 宿泊費と懇親会参加費は 10,000 円/1人になります。)

挨拶は、木村繁男(金沢大学)、

Guang-Yu Shi(中国科学院大気物理研究所)

Dong-In Lee(釜慶大学校)

能登の文化と歴史について講演:成之坊 良輔

**日時： 1月16日(水)**  
**場所： 金沢大学、自然科学研究棟 G15**  
**金沢セッション**  
**金沢市角間**

**1月16日**

0830 - 1200 珠洲市(のとじ荘)出発、金沢大学バスにて金沢大学へ移動

1200 - 1230 昼飯 (金沢大学内にて、自由行動)

**(総司会:木村繁男、洪 天祥)**

1300 挨拶 林 勇二郎 金沢大学長

1305 開会挨拶 長野 勇 金沢大学フロンティアサイエンス機構長

**セッション3:大気環境 , 環日本海域での大気環境について**

**(司会:Li-hong Ren、菅房 豊)**

1310 - 1325 早川和一(日本、金沢大学自然科学研究科、教授)

Atmospheric Behaviors of Polycyclic Aromatic Hydrocarbons and Nitropolycyclic Aromatic Hydrocarbons in East Asia

1325 - 1340 Dong-In Lee(韓国、釜慶大学校、教授)

Introduction of GRL Program and collaboration work with Kanazawa University

1340 - 1355 Guang-Yu Shi(中国、中国科学院大気物理研究所、教授)

Study of retrieving the concentration of atmospheric CO<sub>2</sub> with satellite infrared data

1355 - 1410 Lin Chen(中国、中国科学院大気物理研究所、博士課程)

Short-Wave direct radiative effect of aerosols in the clear-sky over oceans from satellites observations

1410 - 1425 Qin-Zhong Feng(中国、中国科学院生態環境研究センター、博士課程)

Morphologies and binding characteristics of 2,4,6-trichlorophenol imprinted polymers

- 1 4 2 5 - 1 4 4 0 Li-hong Ren(中国、中国環境科学院、研究員)  
Aircraft measurements of regional and vertical distribution of air pollutants over typical regions in China
- 1 4 4 0 - 1 4 5 5 Yi-Sheng Xu (中国、中国環境科学院、博士課程)  
Mechanism of OH formation from ozonolysis of biogenic emission VOC and carcinogenic activity of methylated benzo[*a*]anthracene  
: A quantum-chemical study

**1 4 5 5 - 1 5 3 0 Poster Section and Coffee Break**

***Poster Section: 大気環境 。 東アジアの大気汚染物質について***

- Poster 1 Fulai Guan(中国、河北省気象局、研究員)  
Ground-base remote sensing of aerosol optical properties over Yinchuan, China
- Poster 2 Bin Chen(中国、中国科学院大気物理研究所、博士課程)  
Source of non-spherical particles in the boundary layer over Beijing
- Poster 3 Shiguang Qin(中国、中国科学院大気物理研究所、博士課程)  
Long term variation of surface solar radiation in China
- Poster 4 Keun-Ok Lee(韓国、釜慶大学校、修士課程)  
DSD characteristics of precipitation at Taramajima in Okinawa, Japan
- Poster 5 Sung-Hwa Park(韓国、釜慶大学校、修士課程)  
Physio-chemical characteristics of aerosol particles and ion components of precipitation at northern part of the East China Sea
- Poster 6 Dong-Soon Kim(韓国、釜慶大学校、博士課程)  
Retrieval of three-dimensional distribution of rainfall parameters using MP-X radar for rain attenuation correction.
- Poster 7 Mi-Young Kang(韓国、釜慶大学校、博士課程)  
The fluctuation of aerosol number concentration during snowfall in inland area, Jochiwon, Korea
- Poster 8 海野峻太郎(日本、金沢大学、修士課程)  
Numerical study on atmospheric pollutant dispersion in stably-stratified flows over a two-dimensional mountain

**セッション4:大気環境 。東アジアの大気質及び気候状況について**

(司会: Bin Chen, Dong-Soon Kim)

- 1530 - 1545 In-Jin Choi (韓国、ソウル大学校、博士課程)  
Transport patterns of polluted and dust-laden air masses over East Asia
- 1545 - 1600 Jong-Cheol Kim (韓国、漢陽大学校、博士課程)  
Assessment for characteristics of air quality nearby cement factories
- 1600 - 1615 Kyoung-Min Lee (韓国、釜慶大学校、博士課程)  
The performance of GME AGCM from NWP to Seasonal Prediction
- 1615 - 1630 當房 豊 (日本、金沢大学、博士課程)  
On the mixture of aerosols and ice clouds over the Tibetan Plateau
- 1630 - 1645 楊 小陽 (日本、金沢大学、博士課程)  
Study on atmospheric fluoride ion at Wajima on Noto peninsula, Japan
- 1645 - 1720 コメント  
- 環日本海域での大気環境国際共同観測計画構築及び若手研究者の  
ネットワーク形成に関してー  
岩坂安信 (金沢大学)、早川和一 (金沢大学)、  
Guang-Yu Shi (中国科学院大気物理研究所)、  
Dong-In Lee (釜慶大学校)

- 1830 - 2030 **懇親会(進行係: 洪 天祥)**  
**場所: 金沢大学 中福利食堂**  
( 懇親会参加費は 2,000 円/1人になります。 )  
挨拶は、長野 勇 (金沢大学)、  
Young-Chan Kim (釜慶大学校)